

八千代市立郷土博物館

館報

No. 30



(令和5年度)

八千代市立郷土博物館

はじめに

このたび、「八千代市立郷土博物館 館報 No.30（令和5年度）」を刊行するはこびとなりました。令和元年度から続いている新型コロナウイルス感染症対策も令和5年5月から5類に移行したことにより、中学校の職場体験や小学校の来館見学も増え、一般の来館者も含め博物館利用者が増加していることが感じられます。

千葉県においては千葉県誕生150周年の記念すべき年に第71回全国博物館大会が開催され、デジタルアーカイブやDX（デジタルトランスフォーメーション）、多様な主体との関わり、地域の特性の活用等の様々なテーマを取り扱い、博物館法の改正に伴う博物館に求められる役割について活発な議論を行っています。また、令和5年4月から改正博物館法が施行され、博物館の活動の在り方は大きな転機を迎えており、博物館の求められる役割も様々に変化し、社会教育法のみならず文化芸術基本法の本質にも基づく事へと博物館を取り巻く状況は変化しています。当博物館においても、第71回全国博物館大会でのテーマや議論を参考にしつつ、今後も引き続き地域文化の一端を担う博物館をめざし、努力してまいります。

令和6年6月吉日
八千代市立郷土博物館

八千代市立郷土博物館基本的運営方針（八千代市立郷土博物館の使命）

平成27年4月 1日制定

平成31年3月18日改定

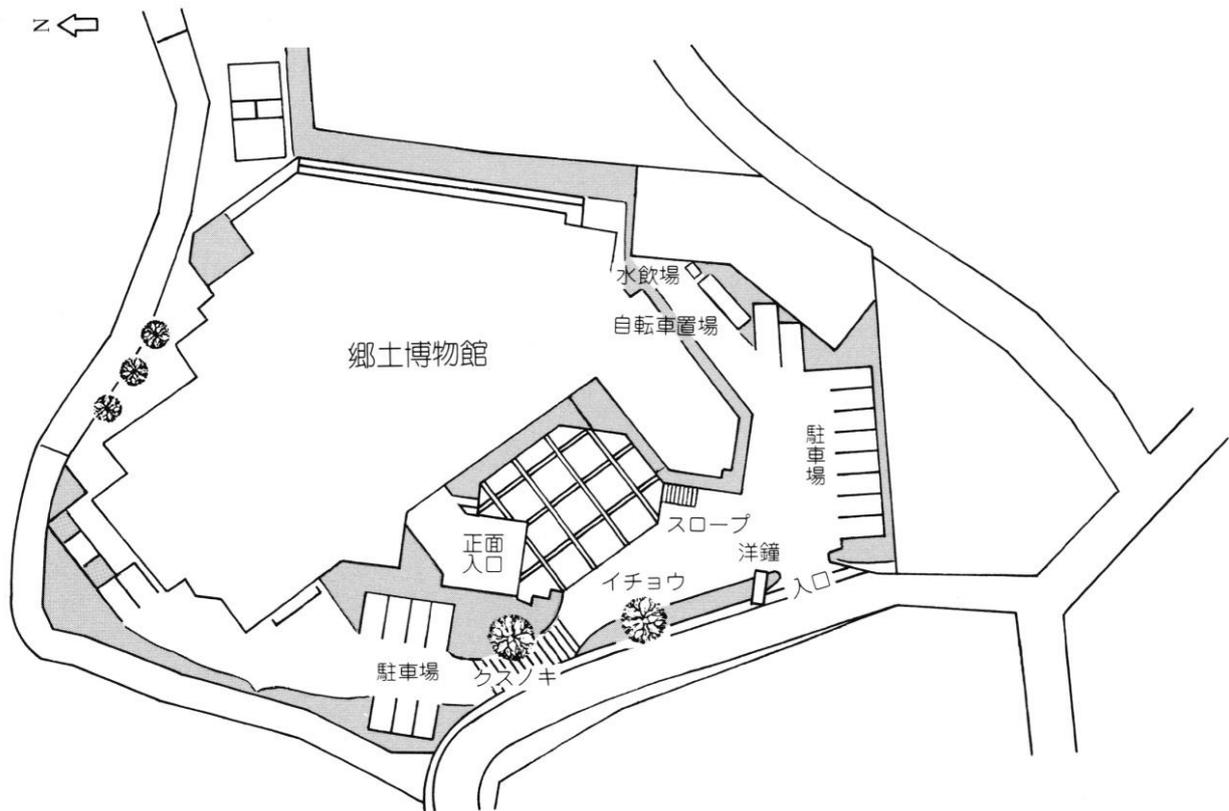
- 1 地域に伝えられてきた、歴史資料、考古資料、有形・無形の民俗資料、動植物の標本類等自然関係資料を保存・継承するとともに調査・研究を行い、市民への効果的活用を図る。
- 2 教育、学術及び文化の発展に寄与するため、子どもから高齢者に至るまでを対象とした展示・講座等多様な博物館事業を開催する。
- 3 文化・学習活動の拠点としての博物館の構築により、多様な博物館利用を促進し、地域の活性化に寄与する。
- 4 各学校との連携を密にし、学校教育の効果的運営を支援するとともに、児童・生徒の興味及び探究心を育み、共生社会の一員としての認識を深めることに寄与する。
- 5 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等様々な分野との連携が期待されている状況を踏まえ、これらに応える市民に対する諸事業の開催を図る。

（表紙写真：第2回文化財散歩「八千代緑が丘駅」周辺の文化財や神社を巡る）

目 次

はじめに	
I 沿革	1
II 令和5年度組織	2
III 施設概要	3
IV 令和5年度予算	3
V 博物館事業	3
1 資料	4
(1) 収蔵資料	
(2) 資料収集	
(3) 資料貸与等	
(4) 資料保存	
(5) 資料の修補	
(6) 図書資料	
2 調査・研究	17
3 展示	18
(1) 常設展示	
(2) 企画展示	
(3) 特別展示	
(4) ロビー展示	
4 学校連携	21
(1) 小中学校対応	
(2) 博物館教育への協力	
5 市民学習の支援	23
(1) 企画展関連事業	
(2) やちよの民俗行事	
(3) 古文書講座	
(4) やち博講座	
(5) 博物館上映会	
(6) 観察会	
(7) 体験講座	
(8) 子ども講座	
(9) 地域における子どもたちの学習支援	
(10) 同好会の育成	
(11) 講師派遣	
(12) 学習室等の施設利用	
(13) 刊行物の作成・配布	
6 地域協働	28
(1) 大学との連携	
(2) 関係機関との連携	
7 広報	28
8 博物館協議会	28
9 令和5年度のまとめ（自己評価）	28

統計資料・関連条例等	29
1 博物館利用者数の推移	29
2 令和5年度 団体・個人別利用者数	30
3 令和5年度 博物館利用者アンケート集計結果	30
4 令和5年度 企画展アンケート集計結果	31
5 条例・規則	33
○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例	
○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則	
○八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程	
○八千代市立郷土博物館協議会運営規則	



郷土博物館敷地内施設配置

I 沿革

【八千代市郷土資料室】以前

明治6年 正覚院に旧村上小学校開設
明治40年 当地に旧村上小学校移転
昭和49年5月 村上小学校，村上団地内に移転

【八千代市郷土資料室】

昭和52年7月15日 郷土資料室（民具室）（1階2室）開設
昭和54年8月15日 考古資料室（2階1室）開設
昭和59年6月3日 民具第2室オープン



八千代市郷土資料室展示風景

【八千代市歴史民俗資料館】

平成5年5月15日 開館



「土器づくり教室」

【八千代市立郷土博物館】

平成12年4月

八千代市歴史民俗資料館から名称変更

平成12年5月

登録博物館に認定される

平成24年9月1日

八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正し，国民の祝日に関する法律に規定する休日を開館日とする

平成24年11月11日

博物館利用者 30万人を達成

平成25年5月15日 開館20年

平成28年3月 平成27年度利用者数が過去最多の29,290人達成

平成28年6月19日 博物館利用者 40万人を達成

平成31年4月1日 組織改正により，生涯学習部が教育委員会に移管されたことに伴い，「郷土博物館」は教育総務課から文化・スポーツ課の所管となる

令和元年10月12日～13日午後1時まで 台風19号の接近・通過のため臨時休館

令和2年2月29日～3月31日 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館

令和2年4月1日～5月31日 臨時休館延長

令和2年12月22日 博物館利用者 50万人を達成



博物館外観

II 令和5年度組織

1 職員

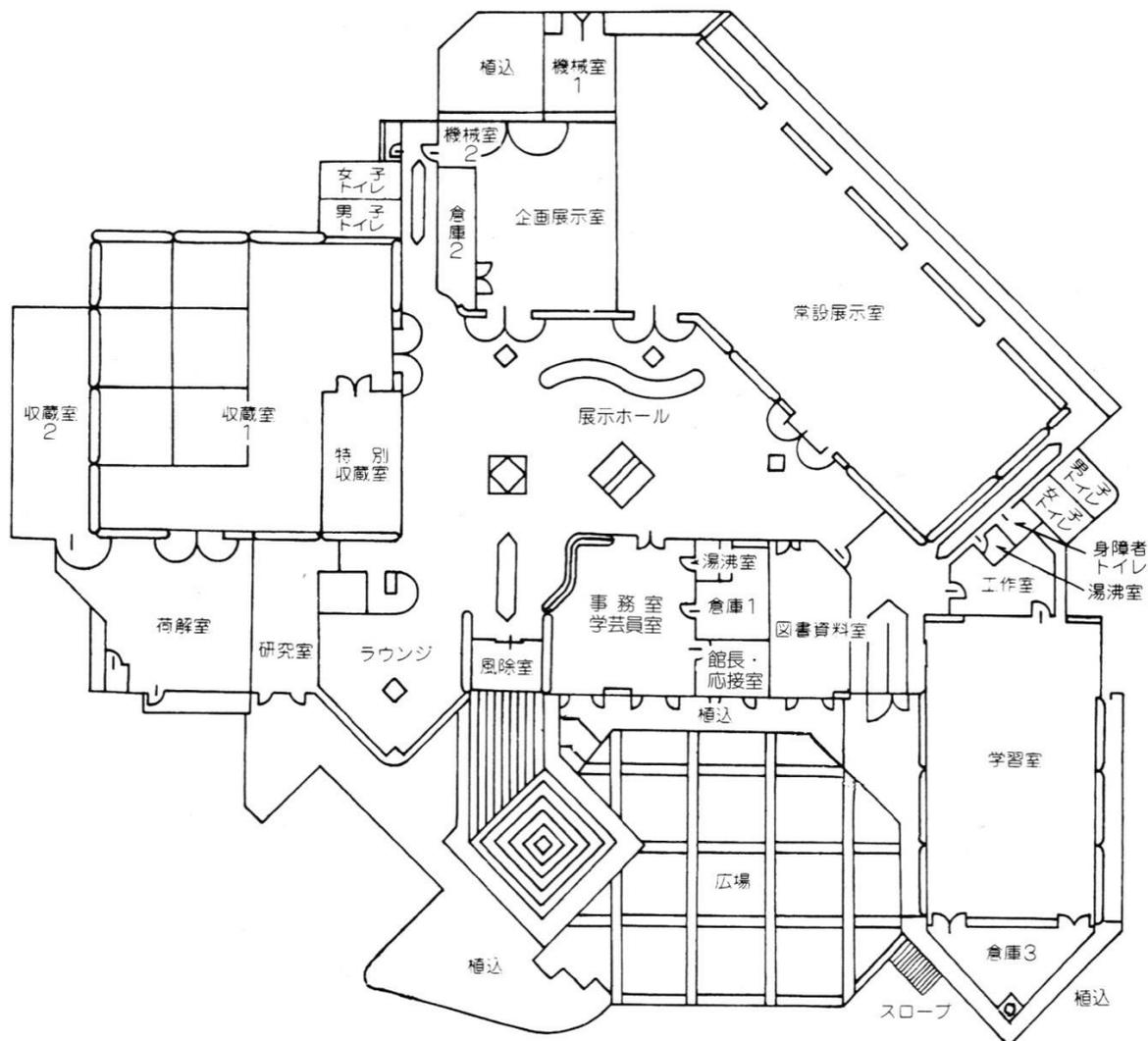
八千代市教育委員会	教 育 長	小林 伸夫
	教育次長	春田 泰宏 (社会教育担当)
文化・スポーツ課	課 長	米ノ井 正樹
八千代市立郷土博物館	館 長	中村 元重
職 員	副 主 幹	小林 伸一 (学芸担当) 文化伝承館兼務
	主 査	作左部 孝 (庶務担当) 文化伝承館兼務
	主 査 補	安藤 茂和 (庶務担当) 文化伝承館兼務
	主任主事	田口 定夫 (庶務担当) 文化伝承館兼務
	主任主事	常松 成人 (学芸担当) 文化伝承館兼務
	文化財主事	小川 耀平 (学芸担当) 文化伝承館兼務
	資料調査研究員	野中 政博 (近世・古文書担当・会計年度任用職員)
	資料調査研究員	石山 由里子 (民俗担当・会計年度任用職員)
	学芸補助員	片岡 良美 (古文書担当・会計年度任用職員)
	博物館資料整理員	藤代 晴美 (会計年度任用職員)
	博物館資料整理員	箕輪 幸恵 (会計年度任用職員)
	博物館資料整理員	佐藤 智恵子 (会計年度任用職員)
	博物館資料整理員	池田 孝子 (会計年度任用職員)

2 八千代市立郷土博物館協議会委員 (敬称略)

八千代市立郷土博物館協議会は、「八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例 (平成12年八千代市条例第6号) 第8条第1項の規定に基づき設置している。

委 員	久留島 浩	学識経験者 (人間文化研究機構国立歴史民俗博物館 特任教授)
委 員	斎木 健一	学識経験者 (千葉県立中央博物館 分館 海の博物館 分館長)
委 員	小林 弘治	学識経験者 (学校法人 聖書学園 千葉英和高等学校 非常勤講師)
委 員	目黒 英樹	学校教育関係者 (八千代市立勝田台南小学校 校長)
委 員	八巻 憲一	社会教育関係者 (八千代市子ども会育成連絡協議会 会長)

III 施設概要



八千代市立郷土博物館 館内配置図

IV 令和5年度予算

郷土博物館運営管理事業 15,966千円

(1) 郷土博物館運営事業 2,865千円

博物館事業の実施に係る、博物館資料整理員等の賃金、外部講師の謝金、ポスター・チラシ等の印刷、運営用消耗品の購入、収蔵資料管理システムの借上等

(2) 郷土博物館維持管理事業 13,101千円

機械警備・電気工作物保安管理・消防用設備保守点検・冷暖房設備保守点検・清掃・環境調査の業務委託、外壁修繕・トップライト排煙装置修繕・高圧気中負荷開閉器交換工事等

V 博物館事業

資料の収集・保管・保存、市内民俗行事・資料に係る調査・研究を基礎として、「『新川流域の自然と人々とのかかわりの変遷』をテーマとした常設展示」のほか、市民の求める内容を検討し、企画展示、特別展示、講演会、講座、体験教室等の各種事業を開催した。

1 資料

(1) 収蔵資料

八千代市域を中心とした自然標本・考古遺物・古文書・
 絵図・民俗資料等の資料類を収集し保管・管理し、後世へ
 の継承を図るとともに、これらの調査・研究成果を、常設
 展示及び企画展示への活用等により市民へ公開する。

(2) 資料収集

個人的に保管されてきた貴重な資料類の散逸・毀損を防止
 するとともに、適正な保管・管理を行い、展示・研究等
 に活用するために収集する。

令和5年度収集数：

合計 15件 672点

(登録資料数)

種 別	総点数
古文書	34,635
自然資料	2,968
民俗資料	6,705
考古資料	849
歴史資料	117
写真資料	1,261
地図資料	519
拓本	74
映像	8
その他	4
合計	47,140

令和5年度収集資料一覧

	資料名	点数	区分	寄贈者・移管元	受領日
1	八千代市域の石造文化財調査カード（保品庚申塚・ 神野・高津自衛隊演習場内）	1	寄贈	個人	7月19日
2	ヤマトミクリ植物標本	4	寄贈	文化・スポーツ課 文化財班	7月27日
3	牛乳ほか飲料紙パック	12	寄贈	コーシン乳業 株式会社	8月10日
4	甲冑 一式	1	寄贈	個人	8月25日
	鎧櫃	1			
	短刀	1			
	陣羽織	1			
	展示ケース	1			
5	小名木淳家板碑	19	寄贈	個人	8月26日
6	チョコレート菓子	3	寄贈	ロック製菓 株式会社 八千代工場	9月13日
	チョコレート菓子外箱	1			
7	食品サンプル	2	寄贈	石井食品 株式会社	10月8日
	非常食セット	1			
8	まな板	1	寄贈	長谷川化学 工業株式会社	10月13日
	巻きす	2			
9	京成バラ園写真データ	21	寄贈	京成バラ園芸 株式会社	10月26日
10	鎖籠手 一組	1	寄贈	個人	11月15日
	鎧下	1			
	籠手 一組	1			
	指物	3			
	胴	1			

11	竜吐水	1	寄贈	尾崎区	11月15日
	半鐘	1			
	桶	1			
	獅子舞用具箱	1			
	獅子舞用具 一式	1			
	文書類 一式	1			
12	村上込の内遺跡出土遺物	6	移管	文化・スポーツ課 文化財班	12月10日
	殿内遺跡b地点出土遺物 19箱	561			
13	氷製品サンプル	6	寄贈	小久保製氷冷蔵 株式会社	12月13日
14	故植村正春氏撮影の写真	12	寄贈	個人	2月4日
15	八千代びな(台付・木札あり)	2	寄贈	東京家政大学附属 女子中学校 高等学校	2月4日

(3) 資料貸与等

収蔵する資料類を、学校授業の支援や関係機関の事業充実等のために、貸与・提供等の特別利用を受入れた。

合計 24件 286点

令和5年度資料等特別利用申請一覧

No.	許可日	資料名	点数	利用内容	利用目的	利用者
1	4. 4	村神郷の書かれた墨書土器の 写真データ、郷土博物館外観写 真データ	2	借用・掲載	不動産販売ツ ールに記載	日本広藝株式 会社
2	6. 7	信田祐二家文書「下総国印旛沼 御普請堀割絵図」の写真データ	1	掲載	『2024 年用共通 テスト対応模試 パワーマックス 日本史B』	株式会社フォ ト・オリジナ ル
3	6. 21	山崎一男家文書目録抜粋分コ ピー	1	閲覧・当該資 料の提供	「旧村真木野の 総合研究」の調査	八千代市郷土 歴史研究会
4	7. 4	京成大和田駅写真データ	4	掲載・画像展 示	千葉県立房総の むら令和5年度 トピックス展	公益財団法人 千葉県教育振 興財団
5	7. 23	土屋百兄家旧蔵文書 5111～ 5187号	77	閲覧・複写・ 撮影・袋書 き・目録作成	「博物館実習講 座」古文書デジ タル化作業	千葉英和高等 学校
6	7. 27	山崎一男家文書 1～106号・ 116号1～4(除外部分あ り)	100	閲覧・撮 影・掲載	「旧村真木野の 総合研究」の調 査	八千代市郷 土歴史研究 会
7	8. 1	上谷遺跡出土墨書土器 A36-6, A112-2・3・4・5, A116-2,	9	閲覧・撮影・ 実測・掲載	卒業論文執筆	個人

		A-193-36, A258-39・40				
8	8. 20	印旛沼出現怪獣の想像模型, ツジギリのワラヘビ, 「変わりゆく自然」の動物剥製, 「ちょっとむかしのくらし」, 木造彫刻(般若・お多福の面)及び「印旛沼の漁業」	5	撮影・掲載	SNS	個人
9	8. 22	井戸向遺跡報告書図版1(写真)・図版3(カラーライド), 白幡前遺跡報告書図版12(ネガ)	3	掲載・画像展示	第78回企画展「岩宿Ⅱ石器文化と関東地方」	岩宿博物館
10	8. 30	神野十三仏板碑の拓本の写真データ	1	掲載	朝刊・千葉版情報コーナー「見る・聞く・話す・参加する」	東京新聞千葉支局
11	10. 16	足踏み脱穀機	1	借用	授業	大和田南小学校
12	10. 22	丸木舟(複製), 印旛沼出現怪獣想像模型, 萱田遺跡群模型, 村上遺跡群模型	4	撮影・掲載	東海住宅タウンガイドのブログ	ローカルパワーエンジン株式会社
13	10. 27	広報パネル(なかよし橋開通・国道16号線工事中・他), 昭和43年旧村上小学校展示パネル	21	借用・実物展示	授業, 創立150周年記念行事, 1000カ所ミニ集会等	村上小学校
14	10. 27	信田祐二家文書「下総国印旛沼御普請堀割絵図」の写真データ	2	撮影・画像展示	授業	村上小学校
15	10. 27	ベル, 給食用皿, 菊の紋章	3	借用・実物展示	授業, 創立150周年記念行事, 1000カ所ミニ集会等	村上小学校
16	11. 10	信田祐二家文書「下総国印旛沼御普請堀割絵図」の写真データ	1	掲載	『歴史人 増刊』	株式会社ABCアーク
17	11. 16	権現後遺跡出土白玉D133-13~46	34	閲覧・撮影	卒業論文執筆	個人
18	11. 19	平戸台墓地板碑(F-1), 平戸台墓地板碑の拓本T19・T20, 真木野妙徳寺の板碑の拓本T13	4	複写・掲載・画像展示・採拓	ふるさとの歴史展, 『史談八千代』48号	八千代市郷土歴史研究会
19	11. 21	佐山の獅子舞一普及版-DVD	1	借用・放映	ふるさとの歴史展	八千代市郷土歴史研究会
20	11. 22	印旛沼出現怪獣の想像模型	1	撮影・放映	YouTube	個人
21	1. 10	土地宝典図	1	複写	調査・測量	須藤土地家屋調査士事務所
22	1. 21	八千代台駅新設位置, 駅前風景, 八千代台駅昭和30年代, 市街地, 他の各写真データ	7	掲載	三井住友信託銀行100周年記念ポスター・WEBページ	株式会社コロマチ

23	3. 7	権現後遺跡 D007 遺構出土灰釉 段皿	1	借用・実物展 示	千葉県立房総の むら風土記の丘 資料館常設展示	公益財団法人 千葉県教育振 興財団
24	3. 7	上谷遺跡出土土偶	2	閲覧・撮影	学習会	八千代栗谷遺 跡研究会

(4) 資料保存

資料を虫害等から防ぐため、環境調査及び状況への対応を行った。

3回の環境調査において、館内に昆虫等捕獲用トラップを設置し、一定期間経過後回収した結果、資料加害害虫等昆虫類の発生・侵入が若干確認されたため、その発生原因や侵入経路について、清掃等の対策を講じた。

第1回環境調査

期間 令和5年4月18日(火)～令和5年6月20日(火)(63日間)

使用資機材・数量

歩行性昆虫類捕獲用資機材(シートトラップ) 30か所

文化財害虫捕獲用資機材(フェロモントラップ) 4か所

第2回環境調査

期間 令和5年6月20日(火)～8月18日(金)(59日間)

使用資機材・数量 第1回と同じ

第3回環境調査

期間 令和5年8月18日(金)～10月26日(木)(69日間)

使用資機材・数量 第2回と同じ

(5) 資料の修補

当館には約3万点の古文書等が保管されているが、虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではなく、致命的な状態となることが予想される資料も少なくない。

このことから、将来へ古文書等を伝えていくため、定期的に修補を行っている。

また、古文書修補技術向上のため元宮内庁書陵部修補師長の横山謙次氏を講師として研修を行った。

(期日：8月18日(金)、12月19日(火)、3月22日(金))

令和5年度実施回数 38回



古文書修補 クリーニング作業

(6) 図書資料

関係機関等から寄贈された図書類を、調査・研究や企画展等の博物館事業への活用や、市民の学習活動等に利用している。

令和5年度末所蔵数 18, 141冊

令和5年度受入数 322冊(同一本 複数冊の受入あり)

令和5年度受贈図書一覧

(敬称略)

寄贈者名	資料名称
朝霞市博物館	朝霞市博物館調査報告書 第11集 大畑公一家文書目録樹木と人の暮らし
我孫子市教育委員会	我孫子市文化財報告第21集 楚人冠と我孫子の暮らし
板橋区教育委員会	第21回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集
板橋区立郷土資料館	板橋区立郷土資料館 年報 第34号 第35号
	板橋区立郷土資料館 紀要 第24号 (合本)
	震災後100年 いたばしの現代化 - 関東大震災をきっかけに板橋はどう変わったのか -
	煎茶にしませんちゃ?
	いたばしの富士山信仰 - 富士講用具と旅した人びと -
一宮町教育委員会	一宮町歴史叢書第二集 川城昭一氏収集文書調査報告書
	一宮町の指定文化財 2版
市原市教育委員会	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第57集 市原市五所四反田遺跡
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第58集 上総国分寺台遺跡調査報告X XIX 市原市天神台遺跡Ⅲ(本文編1) (本文編2) (写真図版編)
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第59集 市原市稲荷台遺跡(R地点)・ 市原古道遺跡
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第60集 市原市内遺跡発掘調査報告
稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報 第17号
	稲敷市立歴史民俗資料館調査報告 第6集 稲敷市古文書目録 第二集
	稲敷市立歴史民俗資料館調査報告 第7集 稲敷の寺院調査報告③
伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第24号 令和3年度
	伊能忠敬記念館年報 第25号 令和4年度
岩宿博物館	岩宿博物館30年のあゆみ
	岩宿博物館紀要 岩宿 第4号
	郷土カルタの世界
	岩宿博物館 令和4年度 年報
	岩宿Ⅱ石器文化からみた関東地方
	岩宿フォーラム2023/シンポジウム『更新世末期から完新世初頭における遊動的 狩猟採集民』予稿集
印西市教育委員会	印西市石造物調査報告書 本埜地区の石造物
	令和3年度 印西市内遺跡発掘調査報告書
印西市立印旛歴史民俗資料館	印西市立印旛歴史民俗資料館紀要 第5号
印西市立木下交流の杜歴史資料センター	印西の歴史 第14号 令和5年3月
ABC アーク	歴史人 蔦屋重三郎とは、何者なのか?
江戸川区教育委員会事務局教育推進課文化財係	江戸川区の富士講 「割菱八行講先達秋元米作手記」

大田区立郷土博物館	海苔商たちの底力
	大田区立郷土博物館 紀要 第25号
大原幽学記念館	大原幽学記念館報告 第九号
沖縄県立博物館・美術館	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第15号
	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第16号
	令和4年度 沖縄県立博物館・美術館 博物館教育普及活動
奥松島縄文村歴史資料館	東松島市文化財講演会 「王権と牡鹿郡ー赤井官衛遺跡は、なぜ史跡に指定されたのかー」記録集
	奥松島縄文村講演会 「縄文とアイス」
小山市立博物館	小山市立博物館 館報第39号 令和3年度版
	小山市立博物館 館報第40号 令和4年度版
柏市教育委員会	令和3年度 柏市 市内遺跡発掘調査報告書
	柏市埋蔵文化財調査報告書104 千葉県柏市 車ノ前遺跡(第8次) 手賀西小裏遺跡(第1次) 八反目台遺跡(第3次) 大室小山台遺跡(第61次) 大室小山台遺跡(第82次)
	柏市埋蔵文化財調査報告書105 千葉県柏市 南原遺跡(第9次) 笹原遺跡(第22次) 笹原遺跡(第24次)
	柏市埋蔵文化財調査報告書107 千葉県柏市 根戸高野台遺跡(第10次) 一宅地造成に伴う埋蔵文化財調査ー
	柏市建造物調査報告書6 如春堂・芳野家住宅
	柏市文化財保存活用地域計画 2023ー2030
柏市教育委員会文化課	柏市史 沼南町史 通史編
葛飾区郷土と天文の博物館	葛西城址・青戸御殿出土資料集 5
	浮世絵に描かれたかつしか
	THE ご利益
香取市教育委員会	香取市内遺跡発掘調査報告書17 ー令和4年度ー
	長岡鴻ノ巣I遺跡
神奈川県日本常民文化研究所	歴史と民俗 40
	民具マンスリー 第56巻1号 2023.4
	民具マンスリー 第56巻2号 2023.5
	民具マンスリー 第56巻3号 2023.6
	民具マンスリー 第56巻4号 2023.7
	民具マンスリー 第56巻5号 2023.8
	民具マンスリー 第56巻6号 2023.9
	民具マンスリー 第56巻7号 2023.10
	民具マンスリー 第56巻8号 2023.11
	民具マンスリー 第56巻9号 2023.12
	民具マンスリー 第56巻10号 2024.1
	民具マンスリー 第56巻11号 2024.2
	民具マンスリー 第56巻12号 2024.3
鎌ヶ谷市教育委員会	鎌ヶ谷市埋蔵文化財調査報告 第40集 令和4年度 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査報告書
鎌ヶ谷市郷土資料館	鎌ヶ谷市郷土資料館年報 第36号 [令和4年度]

神川町教育委員会	神川町埋蔵文化財調査報告第18集 観音院南遺跡第3次 ー店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	神川町埋蔵文化財調査報告第19集 皂樹原遺跡第6次
木更津市教育委員会	千葉県木更津市 千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅷ ー千束台遺跡Ⅱー
	千葉県木更津市 千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅸ ー塚原遺跡Ⅰー
	木更津市埋蔵文化財発掘調査報告書第22集 ー千葉県木更津市ー 山王台遺跡発掘調査報告書
	木更津市文化財調査集報27 埋蔵文化財の発掘調査報告 新指定文化財調査報告
	千葉県木更津市 千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅹ ー千束台遺跡Ⅲー
	千葉県木更津市 千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅺ ー塚原遺跡Ⅱー
	木更津市文化財調査集報28 埋蔵文化財の発掘調査報告 野焼A・B遺跡出土の縄文土器・石器(補遺) 中台A遺跡出土の刀子(補遺)
君津市教育委員会	令和4年度 千葉県 君津市内遺跡発掘調査報告書 富吉遺跡Ⅳ 他
清瀬市郷土博物館	清瀬市郷土博物館 年報・紀要 令和3年度
	清瀬市郷土博物館 年報・紀要 令和4年度
桑名市博物館	武門の遺産(レガシー) ー徳川家を支えた忍・桑名・白河ー
國學院大學文学部博物館 学研究室	國學院大學 博物館學紀要 第48輯
	國學院大學博物館学研究 第3号
国際文化財(株)	港区近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告100 [TM087・155] 春桃院跡遺跡・善福寺寺域遺跡発掘調査報告書
国立歴史民俗博物館	いにしえが、好きっ! ー近世好古図録の文化誌ー
	REKIHAKU 推定不能
	REKIHAKU 歴史をつなぐ
	REKIHAKU 顔・身体をもつ道具たち
	令和5(2023)年度 国立歴史民俗博物館 要覧
	陰陽師とは何者か うらない、まじない、こよみをつくる
埼玉県平和資料館	戦争と健康
埼玉県立川の博物館	埼玉県立川の博物館 紀要 23号
	土 ウォッチング
	うんち・糞・フンⅡ
埼玉県立歴史と民俗の博物館	縄文コードをひもとく
坂の上の雲ミュージアム	坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 第44号 2023年 春号
	坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 第45号 2023年 夏号
幸手市郷土資料館	幸手市西関宿 浅間神社 奉納額・絵馬の優品 ー関宿向河岸の歴史と富士信仰ー
里見氏研究会	里見氏研究 第2号
寒川文書館	寒川町史研究 第34号
酒々井町教育委員会	城と城下にみる戦国大名の権威 ー本佐倉、小田原、甲府ー 令和3年度国史跡本佐倉城跡講演会 記録集
	「34,000年前、墨古沢は日本の中心であった」 記録集 墨古沢遺跡国史跡指定1周年記念シンポジウム
静岡市歴史博物館	しずおか歴史探検 静岡市歴史博物館公式ガイドブック

実践女子大学 博物館学課程	MUSEOLOGY 実践女子大学 博物館学課程 第42号
芝山町教育委員会	芝山町埋蔵文化財調査報告書 第13集 根切台遺跡
	芝山町埋蔵文化財調査報告書 第14集 御田台遺跡(1337-4 地点) 宿遺跡(1972-1 地点) 宿遺跡(1974-5 地点) 宿遺跡(1973-1 地点)
	芝山町埋蔵文化財調査報告書 第15集 中堀越遺跡 -土砂採取事業に伴う埋蔵文化財調査報告書-
首都圏形成史研究会	年報 首都圏形成史研究会 2022 第12号
市立市川考古博物館	遺伝子からみた古代のイヌ
	市立市川考古博物館 館報 第50号
	市立市川考古博物館 館報 第51号
市立市川歴史博物館	みなさまと歩んだ博物館
白井市教育委員会	白井市文化財基礎調査報告書第17集 旧五十嵐家文書史料目録
	白井市文化財基礎調査報告書第18集 滝田家所蔵文書 史料編
	白井市文化財基礎調査報告書第19集 小金牧の牧士資料(追補)
白井市郷土史の会	たいわ -語り伝える白井の歴史- No. 38号
白井市郷土資料館	白井市郷土資料館年報20号 -令和4年度-
すみだ郷土文化資料館	すみだ郷土文化資料館 年報 第9号
	すみだ郷土文化資料館 研究紀要 第9号(合本)
(株)Z会 通信教育事業部	2024年用 パワーマックス 共通テスト対応模試 日本史B
袖ヶ浦市教育委員会	袖ヶ浦市埋蔵文化財発掘調査報告書第34集 千葉県袖ヶ浦市 宮ノ後遺跡(6) -宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書-
	袖ヶ浦市埋蔵文化財発掘調査報告書第35集 千葉県袖ヶ浦市 笹田遺跡(6) -ゴルフ場内店舗建設に伴う埋蔵文化財調査報告書-
	令和4年度 千葉県 袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書 笹田遺跡(5) 東下原遺跡・白根古墳群
袖ヶ浦市郷土博物館	袖ヶ浦市史研究 第21号 袖ヶ浦市郷土博物館開館40周年記念号
	袖ヶ浦市郷土博物館要覧2023
	傘寿記念 辻元大雲回顧書展
	袖ヶ浦の外来種
館山市立博物館	関東大震災と館山
	供養する人々
	新・地区展 vol.10 館山-城と湊のまち-
千葉県環境生活部自然保護生物多様センター	千葉県の保護上重要な野生生物 -千葉県レッドデータブック- 植物・菌類編
千葉県教育委員会	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第48集
	市原市松崎中里遺跡(4) -県単交通安全対策事業(主要地方道市原茂原線)埋蔵文化財発掘調査報告書-
千葉県教育庁教育振興部文化財課	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第47集
	八千代市上高野白幡遺跡(2)・(3) -一般国道296号道路改良事業埋蔵文化財発掘調査報告書2-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第49集

	市原市江田遺跡 ー主要地方道市原天津小湊線道路整備事業埋蔵文化財調査報告書ー
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 50 集
	流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書 9 ー流山市市野谷宮後遺跡（南側）ー
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 51 集
	君津市芋窪原遺跡 ー一般国道 410 号久留里馬来田バイパス事業埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 52 集
	市川市国府台遺跡第 192-2・3 地点 ー国府台県営住宅建替事業埋蔵文化財発掘調査報告書 2 ー
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 53 集
	柏北部中央地区埋蔵文化財調査報告書 10 ー柏市翁原遺跡（西側旧石器時代）ー
（公財）千葉県教育振興財団	千葉県教育振興財団調査報告第 791 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 41 ー多古町・芝山町大ヨロ I 遺跡ー
	千葉県教育振興財団調査報告第 792 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 42 ー芝山町境砦遺跡ー
	千葉県教育振興財団文化財センター年報 No. 48 ー令和 4 年度ー
	研究連絡誌 第 87 号
	研究連絡誌 第 88 号
	流山新市街地地区の遺跡展 大地より出でし先人の足跡
千葉県美術会	第 72 回 県展
千葉県文書館	日記のなかの関東大震災
	千葉県の文書館 第 29 号
	収蔵文書目録第三十七集 市原市分目 岡田(利)家文書目録 5
千葉県立関宿城博物館	地図は世につれ人につれ
	千葉県立関宿城博物館 研究報告 第 28 号
千葉県立中央博物館	おはまおり ー海へ向かう神々の祭りー
	千葉県立中央博物館研究報告 第 16 巻 第 2 号
千葉県立房総のむら	千葉の行商 ー小さなからだ大きなカゴとー
千葉市	千葉市史 史料編 11 近代 2
千葉市美術館	千葉市美術館研究紀要 採蓮 第 24 号
（公財）千葉市教育振興財団	千葉市大宮作遺跡 ー店舗建設に伴う埋蔵文化財調査報告書ー
	千葉市種ヶ谷津遺跡（第 6・7 次） ー第二グラウンド整備に伴う埋蔵文化調査報告書ー
	幸福を祈る 古代人の願いと造形
千葉市埋蔵文化財調査センター	埋蔵文化財調査（市内遺跡）報告書 ー令和 4 年度ー
	千葉市立木南遺跡 ー令和 3 年度発掘調査報告書ー
	千葉市広ヶ作遺跡
千葉市立加曾利貝塚博物館	貝塚博物館紀要 第 49 号
千葉市立郷土博物館	千葉いまむかし 第 36 号
	千葉市立郷土博物館 研究紀要 第 29 号

	令和4年度 千葉市・千葉大学公開市民講座 講演録 酒呑童子の物語と千葉氏 ～逸翁本『大江山絵詞』をめぐって～
テイケイトレード(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 98 [TM220] 芝三嶋町町屋跡遺跡発掘 調査報告書
東京家政学院生活文化博 物館	ごきげんよう -100年を彩った華たちへ-
東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第100号
	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第101号
	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第102号
	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第103号
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第14号
東京都三多摩公立博物館 協議会	東京都三多摩公立博物館協議会会報 No. 44
十日町市博物館	十日町市博物館 年報 -第9号-
	笑う縄文人 縄文人の喜怒哀楽
富里市教育委員会	令和3年度 富里市内遺跡発掘調査報告書 南大溜袋Ⅲ遺跡
取手市埋蔵文化財セン ター	絵はがきでよみがえる昔の取手
	祈りのかたち -出土品から見る先史時代の祭祀-
長野県立歴史館	長野県立歴史館 研究紀要 第29号
長野原町やんば天明泥流 ミュージアム	長野原町やんば天明泥流ミュージアム 年報 第2号 令和4年度事業報告
	旧長野原町役場庁舎調査報告書
	長野原町埋蔵文化財調査報告 第52集 町内遺跡23 -令和4年度 埋蔵文化財 緊急発掘調査報告書-
流山市教育委員会	流山市埋蔵文化財調査報告 Vol.69 千葉県流山市前ヶ崎川村台遺跡
	流山市埋蔵文化財調査報告 Vol.70 令和3年度 流山市市内遺跡発掘調査報告 書
流山市立博物館	流山市立博物館 年報 No.45 令和4年度
成田市教育委員会	令和3年度 成田市内遺跡発掘調査報告書
	成田市の文化財 第54集
成田市立図書館	成田市史研究 第47号
(公財)日本文化財保護 協会	(公財)日本文化財保護協会 紀要 第7号
	考古検定 過去問題集3
野田市郷土博物館	野田の剣術・剣道史
野田市史編さん委員会	野田市史研究 第33号
博物館セキュリティ強 化・連携推進事業実行委 員会	ICOM ICMS 東京大会 2023 [報告書]
パリオ・サーヴェイ(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 97 [TM219] 青山御手大工町町屋跡遺 跡発掘調査報告書
平塚市博物館	茶色ばかりじゃないんだぞ! ~カラフルな考古資料たち~
	平塚市博物館年報 第46号
船橋市遺跡調査会	千葉県船橋市 佐倉道南遺跡(3)
	千葉県船橋市 夏見台遺跡(11)

船橋市教育委員会 生涯 学習部文化課 埋蔵文化 財調査事務所	令和4年度船橋市内遺跡発掘調査報告書
	千葉県船橋市 宝塚遺跡 (1・2)
	千葉県船橋市 中野木向遺跡群 (5)
	千葉県船橋市 夏見台遺跡 (52)
	千葉県船橋市 夏見台遺跡 (74)
	千葉県船橋市 夏見台遺跡 (75)
	千葉県船橋市 東中山遺跡群 (81)
	千葉県船橋市 東町遺跡 (3)
	千葉県船橋市 宮本台遺跡群 (84)
	千葉県船橋市 宮本台遺跡群 (52)
船橋市郷土資料館	私たちのまなびや
	令和4年度 船橋市郷土資料館年報
船橋市飛ノ台史跡公園博 物館	学制150年記念展 ガッコウの下の遺跡
	飛ノ台史跡公園博物館 紀要 第19号
	とびはくへのトビラ ～縄文と出会う～ (第21回縄文コンテンポラリーinふなばし)
町田市立自由民権資料館	自由民権 36号
	町田のおカイコさん ガイドブック
松戸市立博物館	松戸市立博物館館蔵資料目録1 プラスチックのデザイン関係資料
	松戸市立博物館紀要 第30号
	松戸市立博物館調査報告書7 森の住宅都市 常盤平団地の生活史 1960-2022
	松戸市立博物館年報 第30号 令和4年度 (2022)
松本市立博物館	まつもと博覧会
	至極の大衆文化 浮世絵 -酒井コレクション-
港教育委員会事務局 教 育推進部 図書文化財課 文化財係	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告101[TM92] 丹波篠山藩青山家屋敷跡遺 跡発掘調査報告書 2022
港区立郷土歴史館	港区立郷土歴史館 館報 -3- 令和3 (2021) 年度
	港区立郷土歴史館 研究紀要2
	令和4年度 港区指定文化財
(公財)宮城県伊豆沼・内 沼環境保全財団	伊豆沼・内沼研究報告 第17巻
明治大学学芸員養成課程	MUSEUM STUDY 34 明治大学学芸員養成課程 紀要
	MUSEOLOGIST 38 明治大学学芸員養成課程 年報
茂原市立美術館・郷土資 料館	茂原市史 資料編I (原始・古代、中世考古)
	茂原市史調査報告書 第八集 千葉三郎関係文書調査報告書(上)
	茂原市史調査報告書 第八集 千葉三郎関係文書調査報告書(下)
八千代市教育委員会	千葉県八千代市 勝田大作遺跡 g地点 一宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査 報告書一
	千葉県八千代市 川崎山遺跡 -y地点発掘調査報告書一
	千葉県八千代市 公共事業関連遺跡発掘調査報告書IX 殿内遺跡 j地点
	千葉県八千代市 笹塚塚群(1号塚) 一宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 書一

	千葉県八千代市 市内遺跡発掘調査報告書 令和4年度
	千葉県八千代市 島田込の内遺跡 -d・e地点発掘調査報告書-
	千葉県八千代市 白幡前遺跡 i地点 -宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-
	千葉県八千代市 平沢遺跡 c地点・f地点 -乳児院建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-
	千葉県八千代市 米本城跡 c地点 -共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-
	第12回千葉県北西部地区文化財発表会 建てる造る活かす
八千代市教育委員会指導課	令和5年度 読書感想文 第53集 やちよ
八千代市郷土歴史研究会	史談八千代 第48号 2023年12月
八千代市経済環境部環境保全課	令和5年度 八千代市の環境
八千代市立睦小学校	開校150周年記念写真集 むつみの森
横須賀市自然・人文博物館	横須賀市 博物館研究報告(人文科学) 第67号
横浜市歴史博物館	みんなでつなげる鉄道150年 -鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり- [前期]
	みんなでつなげる鉄道150年 -鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり- [後期]
	活字 近代日本を支えた小さな巨人たち
吉川弘文館	日本歴史 第901号 2023年6月号
四街道市教育委員会	令和3年度 四街道市内遺跡発掘調査報告
米沢市上杉博物館	上杉氏と国絵図の世界
和洋女子大学 文化資料館・博物館学課程	国府台 和洋女子大学文化資料館・博物館学課程 報告 26号
個人	成田市史 原始古代編
個人	日光二荒山神社 名刀 御神宝
個人	椎名伝承文化『雨降りかっこ』の復活 地域伝承文化遺産の継承と発展
個人	石川県立歴史博物館 展示案内
個人	いしかわの霊場 中世の祈りとみほとけ
個人	いわての一里塚
個人	金山とキリシタン
個人	地方史研究 第303号 第53巻第3号
個人	地方史研究 第304号 第53巻第4号
個人	地方史研究 第305号 第53巻第5号
個人	地方史研究 第306号 第53巻第6号
個人	地方史研究 第308号 第54巻第2号
個人	地方史研究 第314号 第55巻第2号
個人	地方史研究 第318号 第55巻第6号
個人	地方史研究 第320号 第56巻第2号
個人	地方史研究 第323号 第56巻第5号

個人	地方史研究 第 324 号 第 56 卷第 6 号
個人	地方史研究 第 325 号 第 57 卷第 1 号
個人	地方史研究 第 326 号 第 57 卷第 2 号
個人	地方史研究 第 327 号 第 57 卷第 3 号
個人	地方史研究 第 332 号 第 58 卷第 2 号
個人	地方史研究 第 338 号 第 59 卷第 2 号
個人	地方史研究 第 350 号 第 61 卷第 2 号
個人	地方史研究 第 391 号 第 68 卷第 1 号
個人	千葉県八千代市の酪農 その盛衰の過程 (酪農乳業史研究 第 20 号 別刷)
個人	日本とユダヤの古代史&世界史 縄文・神話から続く日本建国の真実
個人	英国絵画と西欧風景画選 テート・ギャラリー展&カルメン・コレクション展から (額絵)
個人	額絵シリーズ 写楽・歌麿二十四撰 (写楽・歌麿の額絵)
個人	四季の美 現代日本画傑作集 1～6 回 (3 回欠品) (額絵)
個人	20 世紀日本画傑作選第 5 回、第 7 回 (額絵)
個人	四季の美 現代日本画傑作集 7～12 回(11 回欠品) (額絵)
個人	北斎 富嶽三十六景 (額絵)
個人	神宮 (伊勢神宮 案内)
個人	正倉院宝物 (図録)
個人	百寿記念 奥村土牛 (図録)
個人	美の流れ三代 上村松園・松篁・淳之展 (図録)
個人	有田・マイセン磁器 300 年展 (図録)
個人	「昭和の洋画 100 選」展 (図録)
個人	仁和寺の名宝 (図録)
個人	即位記念 「近代日本画壇の巨匠たち」展 (図録)
個人	小倉遊亀展 (図録)
個人	花ひらく近代日本画 (図録)
個人	古九谷 (図録)
個人	海上の道 沖縄の歴史と文化 (図録)
個人	橋本明治展 (図録)
個人	ルーヴル美術館 200 年展 (図録)
個人	バーンズコレクション (図録)
個人	東山魁夷展 (図録)
個人	新版 切手と印刷
個人	日本切手百科事典
個人	沖縄切手ハンドブック
個人	新日本切手カタログ
個人	正しい切手の集め方
個人	原色 日本切手図鑑
個人	歴史と旅 増刊号 (第 25 巻第 11 号) もっと知りたい神と仏の信仰事典
個人	多輪免喜 (たわめき) (上) 「佐倉をもっと知ろう」 佐倉・内郷・根郷編
個人	多輪免喜 (たわめき) (中) 「佐倉をもっと知ろう」 臼井・志津編
個人	京成電鉄五十五年史

2 調査・研究

八千代市内に継承されている民俗行事等について、聞き取り・映像記録の撮影などによる調査を行った。

調査日	行事名	概要
4月2日(日)	正覚院 花祭り	釈迦の誕生を祝う灌仏会にあわせて、千葉県指定文化財の釈迦如来立像が開帳された。
7月23日(日)	下高野 奥州講 ボンテン作り	下高野の福蔵院にて室内外作業を通して、ボンテンづくりを調査した。
9月3日(日)	勝田の獅子舞 市指定無形民俗文化財	水伏と五穀豊穰を祈願し、勝田円福寺と駒形神社で行われる舞。
9月23日(土・祝)	佐山の獅子舞 市指定無形民俗文化財	午前中は熱田神社で、午後は妙福寺で、それぞれ舞が奉納された。
9月29日(金)	神保組千部会	千部会は、法華経を誦する法要である。後継者不足により、本年をもって講を解散した。
10月9日(月・祝)	村上の神楽 市指定無形民俗文化財	七百餘所神社で行われた(例祭)。
1月15日(月)	村上の神楽 市指定無形民俗文化財	七百餘所神社で湯立ての神事と神楽が行われた。
1月20日(土)	高津のハツカビシヤ 市指定無形民俗文化財	高津比咩神社で、神事と歩射とオトウケトリが行われた。
2月11日(日・祝)	高津新田のカラスビシヤ 市指定無形民俗文化財	諏訪神社にて神事と歩射が行われ、オトウワタシ(H29年から愛宕神社と統一)が行われた。
9月29日(金) 10月27日(金) 12月22日(金) 1月7日(日)	米本浅間講例祭	米本浅間神社の境内で富士講の行者によって十五夜祭、十三夜祭、冬至祭、七草祭などの例祭が行われた。

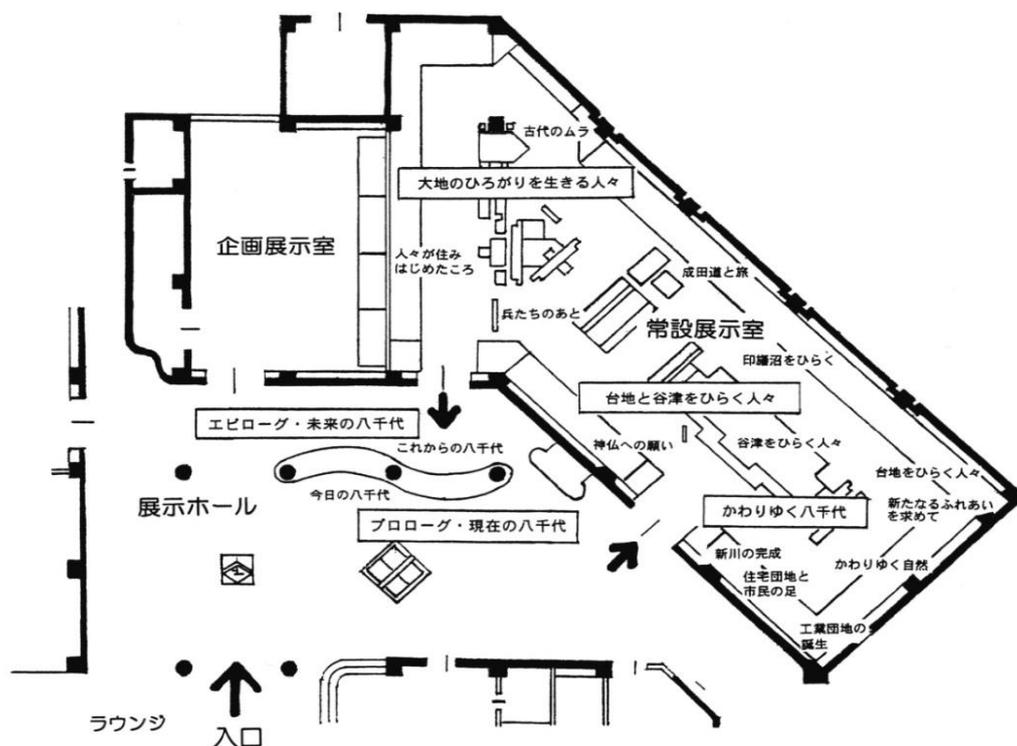


勝田の獅子舞



村上の神楽

3 展示



(1) 常設展示

新川流域を中心とした八千代の自然・歴史・文化・産業に関して、多くの実物資料・標本・複製等を展示し、私たちが暮らす八千代の姿の一層の理解を図る。

開館以来 30 年以上が経過し、展示構成の基本、そしてそれに基づく展示資料、展示手法などに関して、今日の市民の方々の意識・感性から乖離することから、「展示離れ」の傾向が見られるため、展示更新の実施が求められている。

このため、例年新たな展示パネルへの更新、野外展示の石造物への解説板製作等を行ってきたが、令和 5 年度は、常設展示室民俗・考古コーナーでのレイアウトの更新を行った。

(2) 企画展示

新たな情報を提供し再来館に応えるため、5 年度は 1 回実施した。

企画展

「発掘やちよ 新情報 ～古代集落と中世城館～」

期 間：令和 5 年 7 月 15 日(土)～9 月 18 日(月・祝)

開館日数： 57 日

利用者数： 2,436 人

八千代市では毎年発掘調査が実施され、重要な発見も少なくない。近年では、博物館周辺での発掘調査、市内数か所での中世城館跡の発掘調査の成果が注目される。そこで、博物館周辺の事例として、殿内遺跡の古代集落跡を中心に展示し、併せて近年調査された中世の城館跡や板碑についても展示を行った。



展示風景

(3) 特別展示

① 「流山新市街地地区の遺跡展 大地より出でし先人の足跡」

期 間：令和5年10月14日（土）～12月3日（日）

開館日数： 44日

利用者数： 2,142人

本展示は、流山市立博物館、八千代市立郷土博物館、木更津市郷土博物館金のすずにて開催された（公財）千葉県教育振興財団主催の巡回展である。流山新市街地地区は、つくばエクスプレス沿線の開発にともなって計画された。地区内には17か所の遺跡が所在し、旧石器時代から近世に至るまでの遺構・遺物が見つまっている。本展示では、出土した資料を展示し、調査成果を解説パネル等で紹介した。併せて、八千代市の仏教関連資料を展示するコーナーを設けた。



巡回展展示風景

「くらしのうつりかわり展」展示風景

② 「くらしのうつりかわり展 ～資料から知る阿蘇・米本地区～」

期 間：令和6年1月6日（土）～2月25日（日）

開館日数： 44日

利用者数： 1,866人

小学校3年生の学習単元「くらしのうつりかわり」に対応できるように、昭和30年代の生活道具を中心に、当時のくらしのイメージがつかめるよう衣・食・住に分けて展示した。今回の展示では、時代背景がわかる当時の雑誌を用いて、くらしの様子やうつりかわりを紹介した。併せて、令和4年に市内初となる義務教育学校「阿蘇米本学園」が開校したのを機に阿蘇・米本地区のうつりかわりがわかるような資料や写真などを展示した。

(4) ロビー展示

① 季節展示

調査から得られた情報や写真等を活用し、市内年中行事を紹介した。

4月 花祭り 5月 端午の節句 6月 時の記念日 7月 七夕
8月 盆行事 9月 獅子舞 10月 神楽 11月 七五三 12月 正月
1月 正月・オビシヤ 2月 オビシヤ・雛祭り 3月 ツジギリ・雛祭り

② あの町この町

昭和に撮影された写真および平成20年以降に撮影された写真を展示し、八千代の過去と現在の町並みの変遷を紹介した。

4月 睦 5月 八千代台 6月 大和田 7月 大和田・萱田町 8月 勝田・勝田台
9月 萱田・ゆりのき台 10月 神野・保品・上高野・下高野
11月 高津・大和田新田・吉橋・緑が丘 12月～3月まで休止

③ 八千代の自然・文化財11選

市内に多く所在する自然や文化財などのうち、11か所を選びパネルを作成しているが、これらを、ロビー等での展示が行われていない期間に展示して市内の魅力を紹介している。

④ ミニ展示

「やち博コレクション」

博物館で日常的に実施している資料収集とそれに伴う調査・研究・修補などの活動を、速報的・簡易的に展示する。5年度は2回開催した。

第1回 伝・八千代工業団地周辺遺跡

期 間：第1回 6月1日（木）～10月6日（金）

展示内容：八千代工業団地が造られる前の昭和30年代に、当該地周辺で採集された縄文時代の石器や古墳時代の土器などを展示した。

第2回 高津新田の誕生

期 間：11月29日（水）～2月12日（月・振）

展示内容：高津新田・大木茂夫家旧蔵文書から、幕府による新田開発直前の状況を記録した古文書と成立後の古文書を展示した。

⑤ 紙芝居～八千代の昔話～

期 間：12月10日（日）～3月31日（日）

展示内容：文化伝承館で作成した紙芝居を展示した。

⑥ 同好会連携展示

a) 竹細工作品展

期 間：令和6年3月5日（火）～17日（日）

利用者数：217人

「竹細工同好会」会員の作品の展示に加え、アンケート及び一部の作品の配布を行い「竹細工」の普及を図った。

b) 篆刻作品展

期 間：令和6年3月13日（水）～21日（木）

利用者数：156人

「篆刻同好会」の会員が制作した印章、印影などを展示した。

c) 土器づくり作品展

期 間：令和5年10月8日（日）～11月4日（土）

利用者数：1175人

子ども体験教室「土器づくり」の参加者の作品と土器づくり同行会会員の作品を展示した。

4 学校連携

(1) 小中学校対応

市立の博物館として、学校教育支援の役割は大きく、小学校に出向く出前授業を中心に、見学対応等の様々な事業を行った。

小学校においては、学校授業の進度に応じた出前授業や博物館見学の機会を利用し、3年生は「来館見学」や「昔の道具体験」等、4年生は「郷土の歴史」や「年中行事」等、5年生は「脱穀体験」、6年生は「縄文時代から古墳時代」を博物館所蔵の資料の紹介を通して、学習が深められるように工夫して行っている。

昨年度に続いて、学校利用は減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響は少なく、やはり学校担当者1人減の影響が大きい。学校の要望に対して柔軟に対応できないことが課題である。

月	件数	参加者数(延べ人数)	
4月	0	0	
5月	1	34	
6月	9	590	
7月	2	47	
8月	1	1	
9月	1	32	
10月	6	513	
11月	7	439	
12月	1	62	
1月	3	208	
2月	10	785	
3月	3	291	
合計	44	3,002	
内訳	職場体験	4	38
	来館見学	11	637
	出前授業	29	2,327
	リモート授業	0	0

令和5年度学校利用合計

44件 3,002人

参加者の声

【出前授業・来館見学】

- ・「すわり地蔵のこととか、わらへびのこととか教えてくれてありがとうございました。」(小3・男子)
- ・「いろいろくわしく、ていねいにおしえてくださってきちょうなお時間ありがとうございました。私は社会が好きになりました。」(小4・女子)
- ・「町たんけんで見学させていただきました。博物館で働いている人がよくわかるように説明しているのがわかりました。」(小2・女子)
- ・「昔の道具、行事の大切さ、行事を残していくためにすることについて教えていただいてありがとうございました。この学習をいかしていきます。」(小4・女子)
- ・「授業を受けて、印旛沼(新川)の洪水に関して、人々がどれだけ苦労して水害をふせいだの、すごいわかりやすかったです。」(小4・男子)
- ・「博物館を見学して、昔のことを調べても出てこなかったことを知ることができました。初めて見るものやそこで働いている人の気持ちにも驚きました。展示してあるものの一つ一つに博物館の方の気持ちや努力があることを知り、博物館に行くのが楽しくなりました。」(小3・男子)
- ・「年代を追った脱穀のための道具を提示してくださったので、昔の人は米を食べるまでにたくさんの苦労があり、今の自分たちにつながっているのだと感じる子どももおりました。」(小5担当・教員)
- ・「子どもたちは全てに興味津々で活動していました。活動後に感想を聞いてみると『洗濯が冷たくて大変だった。』や『他の昔の道具も知りたい。』といった声があがり、学習が深まったと感じました。」(小3担当・教員)



出前授業「昔の道具体験」



来館見学「八千代市の様子」

授業内容一覧表及び依頼数

学年	単元名	学習内容	依頼数
2 学年	館案内・インタビュー	館の案内や職員の仕事について紹介	1
低学年	昔遊び	昔の道具のおもちゃの紹介と体験	0
3 学年	八千代市の様子	地域の土地利用や公共施設などについて紹介	8
3 学年	古い道具と昔の暮らし	古い道具の説明と体験	12
3 学年	八千代市の移り変わり	昭和時代からの市域の変遷を紹介	2
3 学年	町の行事について発表しよう	地域に残る伝統芸能・行事の調査への協力	2
4 学年	自然災害を防ぐ	東日本大震災と八千代の被害について紹介	0
4 学年	残したい（伝えたい）もの	地域に残る伝統芸能・行事の紹介	3
4 学年	きょうどを開く	印旛沼開削工事についての紹介	4
4 学年	八千代の酪農	八千代の酪農の発展と歴史について紹介	0
4 学年	わたしたちの千葉県	千葉県の特色ある地域について紹介	0
5 学年	私たちの生活と森林	八千代の里山についての紹介	0
5 学年	自然災害を防ぐ	東日本大震災と八千代の被害について紹介	0
5 学年	米作りのさかんな地域	脱穀体験	1
6 学年	八千代の歴史	八千代の歴史を通史で紹介	1
6 学年	土器・黒曜石体験	縄文・弥生時代の道具の説明や体験	0
6 学年	土器づくり	縄文土器づくりの体験	0
6 学年	古墳時代	古墳や出土品の紹介	0
6 学年	中世八千代の歴史	正覚院・米本城の紹介	0
6 学年	町人の文化と新しい学問	成田詣・成田街道についての紹介	0
6 学年	世界に歩み出した日本	幕末や明治、八千代の養蚕業についての紹介	0
小4・6・ 中学生	長く続いた戦争と 人々の暮らし	戦時中の収蔵資料や映像を用いて、戦時中の 人々の暮らしを紹介	1
6 学年	戦後の復興・発展	八千代市の戦後の発展を紹介	0
6 学年	キャリア教育	博物館（役割・仕事内容）について紹介	0
全学年	勾玉づくり	勾玉づくり	0
全学年	火起こし体験	火起こし体験	0
全学年	紙飛行機作り	世界一の紙飛行機作り	1

全学年	地域調査・総合的な学習	現地での地区の歴史・文化財を調査。伝統文化体験など	2
全学年	博物館見学	八千代の自然・歴史・暮らしを紹介	0
中学生	来館見学・職場訪問	八千代の歴史や博物館の様々な仕事を紹介	0
中学生	職場体験	博物館の様々な仕事を実際に行う学習	2
高校生	残したい（伝えたい）もの	地域に残る伝統芸能・行事の紹介	0
特別支援	見学・体験	昔遊び体験等	2
			42

(2) 博物館教育への協力

学芸員資格取得予定者館務実習受入

学芸員の人数減等で、博物館実習受入体制が不十分なため今年度の実習はなし。

5 市民学習の支援

(1) 企画展関連事業

各企画展の開催にあわせ、企画展の趣旨、内容等の理解を深めていただくために、多くの世代に親しんでいただく行事を開催した。

事業名		講師	開催日	参加者
企画展	展示解説	館職員	7月30日(日)	27人
			8月13日(日)	
			9月10日(日)	
巡回展	展示解説	県財団職員	10月21日(土)	34人
			11月19日(日)	
	ワーク ショップ 講座		11月11日(土)	36人
			11月12日(日)	



企画展展示解説

(2) やちよの民俗行事

正月の注連縄作り等の藁細工を製作している下高野地区在住の方を指導者にお招きし、地域に伝えられている厄除けのツジギリの一種であるワラヘビを作る講座を開催した。

期 日：令和5年11月23日（木・祝）

講 師：下高野地区 立石輝雄氏

参加者：24人



厄除けのワラヘビづくり

(3) 古文書講座

八千代市内に伝わる古文書に触れることを通して、八千代の歴史に親しむ機会を設ける目的で、入門・初級・中級の3段階の講座を設定し、館職員を講師として行っているもので、多くの市民から親しまれている講座のひとつである。

事業名		講師	開催日	参加者
古文書講座	入門編（全3回）	館職員	6月25日(日)・7月2日(日)・9日(日)	118人
	初級編（全4回）		9月17日(日)・10月15日(日) 11月19日(日)・12月17日(日)	192人
	中級編（全3回）		1月14日(日)・2月18日(日)・3月17日(日)	133人

(4) やち博講座

館職員を中心とした講師により、郷土の歴史や文化について様々な角度から触れることで、八千代への理解を深めていただくことを趣旨に開講している。

	演題	講師	開催日	参加者
1	「旗本の村」	野中 政博	8月6日(日)	42人
2	「発掘やちよ 新情報～古代集落と中世城館～」	常松 成人	8月27日(日)	46人
3	「大名の村」	野中 政博	11月26日(日)	43人
4	「資料から知る阿蘇・米本地区」	小林 伸一	2月25日(日)	29人



第3回やち博講座

(5) 博物館上映会

「おしどり家計簿と市政映画」

昭和35年制作の「おしどり家計簿」と昭和45年制作の市政映画「やちよ」を上映した。本年度の焦点として、現在の八千代市村上、当時は千葉県八千代町村上辺田前（へたまえ）地区の移り変わりについて詳しく説明をした。

期日：令和6年1月21日(日) 参加者 14人

(6) 観察会

協力いただいた講師や館職員と共に、八千代の名所を訪れ、市内に残された自然や文化財に触れ、学ぶことを目的に開催している。

事業名	講師	開催日	会場	参加者
自然観察会	稲田 晃氏 (八千代市文化財審議会委員)	1月28日(日)	平戸・佐山地区	16人

文化財散歩	館職員	5月21日(日)	下市場・村上南地区	26人
	館職員	3月10日(日)	八千代緑が丘地区	16人



自然観察会（佐山熱田神社にて）



文化財散歩（下市場・村上南地区）

(7) 体験講座

事業名	講師	開催日	参加者
篆刻講座 (全2回・1課程)	篆刻同好会	6月10日(土) 6月11日(日)	34人
植物標本づくり講座 (全2回・1課程)	花野会	7月22日(土) 8月20日(日)	19人 15人
竹細工講座	竹細工同好会	12月3日(日)	16人

外部の専門家や同好会等の会員等が指導者となり、各体験講座を毎年開催している。

(8) 子ども講座

事業名	講師	開催日	参加者
昔遊び体験 (竹馬・竹ポックリ)	館職員	4月29日(土・祝)～30日(日) 5月3日(水・祝)～5日(金・祝)	146人
子ども体験教室	館職員	8月5日(土)・10月8日(日) 11月5日(日)・2月11日(日・祝)	82人
博物館シアター	語りの会やちよ	7月30日(日)	60人
竹と遊ぼう	竹細工同好会	3月9日(土)	24人

① 昔遊び体験

② 子ども体験教室

「竹細工づくり体験」、「土器づくり体験」、「昔の道具体験」

③ 博物館シアター

夏休み期間中に、「語りの会やちよ」による昔話・紙芝居の上演



子ども体験教室(竹細工づくり体験)



子ども体験教室(土器づくり体験)

(9) 地域における子どもたちの学習支援

学校だけでなく、八千代市内の学童保育所・社会教育団体での子どもたちへの博物館的学習支援を行っている。

合計 15件 525人

	実施日	団体名	内容	参加者
1	6月15日(木)	オリナス八千代	紙飛行機づくり	14人
2	7月26日(水)	勝田台南学童	火起こし・マシュマロ体験	38人
3	7月27日(木)	阿蘇・米本学童	勾玉づくり	57人
4	8月2日(水)	八千代台東学童	紙飛行機づくり	89人
5	8月3日(木)	ナナカラ学童	紙飛行機づくり	32人
6	8月9日(水)	勝田台学童	紙飛行機づくり	76人
7	8月10日(木)	おもちゃ箱八千代緑が丘	昔遊び体験	10人
8	8月18日(金)	大和田第三学童	紙飛行機づくり	34人
9	8月22日(火)	緑が丘公民館	勾玉づくり	12人
10	8月24日(木)	勝田台南学童	紙飛行機づくり	37人
11	8月31日(木)	オリナス八千代	昔の道具体験	15人
12	10月3日(火)	フレンド八千代	勾玉づくり	18人
13	11月11日(土)	北東自治会	昔遊び体験	60人
14	1月5日(金)	ナナカラ学童	年中行事(来館見学)	20人
15	3月6日(水)	村上公民館	勾玉づくり	13人

(10) 同好会の育成

博物館がかつて主催した体験講座を通じて得た知識や技術を、さらに深めるための活動の場として同好会が結成された。現在のところ竹細工同好会、八千代土器づくり同好会、篆刻同好会、古文書同好会の4団体があり、当館はその活動を支援している。

これらの同好会は博物館で定期的に活動を行い、今日では博物館行事として開催される当該の講座において指導者として協力をしてもらい日頃の成果を発揮している団体もある。

(11) 講師派遣

各種市民団体・公民館等講師 16件 290人

講師派遣一覧表

	期日	内容：テーマ	団体	参加者	会場
1	4月14日	「郷土の歴史」	八千代市	34人	八千代市役所
2	5月30日	「高津姫伝説・高津の文化財」	高津公民館	13人	高津公民館
3	6月9日	「八千代台を歩く」	元気はつらつクラブ	13人	八千代台公民館
4	6月27日	「古文書で読み解く八千代の江戸時代」	高津公民館	24人	高津公民館
5	8月1日	「八千代の歴史」	八千代市教育委員会	36人	郷土博物館
6	9月12日	「古文書について」	高津公民館	24人	高津公民館
7	10月3日	「江戸時代の高津新田」	八千代台公民館	16人	八千代台公民館
8	11月21日	「大和田の歴史」	大和田公民館	10人	大和田公民館
9	12月3日	「古文書講座初級編前編」	TRC八千代中央図書館	7人	TRC八千代中央図書館
10	12月10日	「古文書講座初級編後編」	TRC八千代中央図書館	7人	TRC八千代中央図書館
11	2月14日	「米本城の歴史」	村上公民館	19人	村上公民館
12	3月7日	「発掘やちよ阿蘇の遺跡を掘る」	生涯学習振興課	20人	総合生涯学習プラザ
13	3月13日	「江戸時代の阿蘇地域」	生涯学習振興課	18人	総合生涯学習プラザ
14	3月16日	「地域の考古について学ぼう」	TRC八千代中央図書館	12人	TRC八千代中央図書館
15	3月21日	「資料から知る阿蘇・米本地域」	生涯学習振興課	15人	総合生涯学習プラザ
16	3月29日	「資料から知る阿蘇・米本地域」	ふれあい大学31期	22人	郷土博物館

(12) 学習室等の施設利用

学習室・工作室、及び図書資料室等の博物館施設を、博物館事業での利用がない日には、地域の団体等が行う研究会や集会、市民の学習活動等様々な活動に提供した。

稼働日数 205日/305日 67.21%

稼働件数 258件 3,996人

学習室・図書資料室利用状況推移表

年度	開館日数	利用日数	利用日数/開館日数	図書資料室利用者数
平成29年度	304	218	71.71%	88人
平成30年度	304	217	71.38%	86人
令和元年度	278	176	63.31%	48人
令和2年度	252	131	51.98%	27人
令和3年度	305	195	61.02%	56人
令和4年度	305	182	59.67%	46人
令和5年度	305	205	67.21%	52人

(13) 刊行物の作成・配布

令和4年度事業の概要及び人事等の基礎的資料を中心に掲載した館報No.29を約300部作成し、市役所内の関係各機関・八千代市内の小中高校・県内の主要博物館等に配布し、博物館事業を公開するとともに、博物館活動の普及をあわせて行った。

また、例年、各企画展示、「くらしのうつりかわり展」、季節展示の、数ページ程度で簡易な印刷・コピーの展示解説書を作成し、利用者に配布し展示の理解を深めている。

6 地域協働

地域における様々な組織・機関との連携により、効果的な博物館事業の充実を図った。

(1) 大学との連携

『「伝統装束体験」の開催』

八千代市内に開校している東京成徳大学との連携により、所有している。資料などをご提供いただき、当館事業の充実化を図っている。

事業名	講師	開催日	参加者
伝統装束体験	東京成徳大学 青柳 隆志氏	令和6年2月3日(土)	19人

(2) 関係機関との連携

公民館との連携事業：5回

図書館との連携事業：2回

7 広報

市役所のホームページ内の一部として、情報発信を継続してゆく。

8 博物館協議会

第1回博物館協議会

期日：令和6年1月23日(火)

- 内容：1 令和4年度事業報告
2 令和5年度事業中間報告
3 令和6年度事業計画案
4 令和5年度特別展示視察

9 令和5年度のまとめ(自己評価)

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の影響が少なかったが、団体利用者を含む年間利用者数が、今年度も前年度を下回り、ここ10年で最少の年となった。

その中でも、地域の各分野に係る資料収集や、主に虫害に対する保存対策、収蔵庫や展示室の温湿度管理、古文書等の修補、収蔵システムへの登録作業等、博物館業務の基本的事項については、昨年度同様、例年通り行うことができた。

常設展示に関しては、常設展示(現代の八千代)のレイアウトの更新を行い、八千代の産業に関する製品の入れ替えをした。また、常設展示(民俗)のレイアウト一部更新を行い、室町時代における、米本城城跡解説パネル「米本城への入り口」の写真を変更した。戦後から始まった梨の栽培に関する情報も古いので、文字情報の更新で対応することにした。獅子舞に関する情報では、現在も行われていることを印象づけるため、最新の情報を写真で更新した。他にも、常設展示(考古)のレイアウト一部更新を行い、近世の地図に村の位置が現在の八千代市のどこに当たるかわかるように位置図を展示したり、中世では板碑の拓本・銘文を展示したりと、大幅に更新を行った。

市民が繰り返し来館してくださる博物館であるためには、展示内容を更新し、新たな情報発信を行うことは不可欠であることから、今後も様々な制約がありながらも行っていく必要がある。

企画展示は、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が少ないと思われるが、企画展の準備のための調査、展示が十分な体制でできなかった。職員同士の連携で、開催可能な内容・時期を探りながら市民の要望に応えるよう努めた。

子どもから成人に向けた講演会、体験講座、現地見学等の市民学習の支援は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業が中止となるものはなかった。引き続き、安全対策を講じて、可能な状況を維持するために事業運営に努めた。

学校教育への支援・連携は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくなったが、依頼された件数がやや減少して、参加者も前年度に比べて約2割減である。学校担当の館職員が1人減で1人対応となったために、今年度も学校側の要望に柔軟に対応することが難しかった。また、学校だけでなく八千代市内の学童保育所や社会教育団体での子どもたちへの博物館的学習支援も行っている。こちらは出前授業依頼件数と参加者数が昨年度より約1.5倍増である。学童によっては、1件当たりの人数が多い時もあるので、学校担当の館職員1人だけの対応は本当に難しいと感じた。

各種市民団体・公民館等に講師として依頼される件数も昨年度とあまりかわらないが、参加者数は昨年度より、約3割減となっており、この減少が続いていることは深刻である。館職員の事務分掌や年間行事等、早急に対策を検討しなければならない。

改正された博物館法には、他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など地域の活力の向上への寄与が努力義務化されている。本館はそのことを意識し、博物館の使命や改正博物館法などを根拠に、館運営事業のあり方を今後も検討していきたい。

【統計資料・関連条例等】

1 博物館利用者数の推移

年 度	開館日	利用者数	うち団体利用者	備 考
平成 21 年度	2 9 0	1 4, 0 9 3	7, 0 1 2	
平成 22 年度	2 8 6	1 3, 9 8 7	8, 1 4 9	
平成 23 年度	2 9 2	1 6, 1 6 5	1 1, 2 9 3	
平成 24 年度	2 9 9	1 8, 4 0 7	1 2, 9 6 3	
平成 25 年度	3 0 3	2 8, 7 3 3	2 0, 2 5 7	
平成 26 年度	3 0 4	2 7, 7 5 8	1 9, 7 3 7	
平成 27 年度	3 0 6	2 9, 2 9 0	2 0, 1 9 5	
平成 28 年度	3 0 5	2 3, 0 9 7	1 6, 3 0 7	
平成 29 年度	3 0 4	2 5, 1 4 1	1 5, 6 7 0	
平成 30 年度	3 0 4	2 4, 1 5 8	1 4, 5 5 1	
令和元年度	2 7 8	2 1, 5 9 9	1 3, 3 5 5	
令和 2 年度	2 5 2	1 3, 5 9 9	8, 8 0 2	
令和 3 年度	3 0 5	1 7, 0 8 4	1 0, 8 2 0	
令和 4 年度	3 0 5	1 3, 7 6 0	7, 9 1 6	
令和 5 年度	3 0 5	1 2, 2 3 4	6, 6 3 4	

2 令和5年度 団体・個人別利用者数

	開館 日数(日)	大人			子ども			月合計 (人)
		個人(人)	団体(人)	計	個人(人)	団体(人)	計	
4月	26	264	236	500	92	0	92	592
5月	26	358	226	584	115	37	152	736
6月	26	235	267	502	25	561	586	1,088
7月	26	470	413	883	108	110	218	1,101
8月	27	568	231	799	131	263	394	1,193
9月	26	424	262	686	54	31	85	771
10月	26	367	330	697	61	491	552	1,249
11月	26	445	364	809	66	427	493	1,302
12月	21	257	193	450	26	54	80	530
1月	23	275	142	417	27	210	237	654
2月	25	364	288	652	96	816	912	1,564
3月	27	679	391	1,070	93	291	384	1,454
総計(人)	305	4,706	3,343	8,049	894	3,291	4,185	12,234
割合(%)	—	38%	27%	66%	7%	27%	34%	—

3 令和5年度 博物館利用者アンケート集計結果

(回答者 50人)

住所

市内	36
県内	11
県外	3
国外	0
未記入	0

来館目的 (複数回答あり)

常設展	30
企画展	21
講演会	2
学習室	3
図書室	2
その他	6
未記入	3

年齢

就学前	0
小学生	20
中学生	1
10代	4
20代	5
30代	3
40代	4
50代	7
60代	4
70代以上	1
未記入	1

来館回数

初	20
2～10	16
11～	14
未記入	0

知る方法 (複数回答あり)

広報	7
HP	8
ポスター等	3
新聞	0
以前から	19
その他	13
未記入	3

主なご意見・ご要望（原文のとおり）

- *アニメでえいぞうが見られると子どもたちがたのしそうです!! (佐倉市 40代)
- *服部市長にすすめられて来ました。解説の女性が非常にていねいに説明して頂きありがとうございました。(市内 40代)
- *印旛沼の怪獣についての展示を見にきました。時代をさかのぼっていく展示形式で大変ユニークに感じたので、それを強みとした表現をなされるとよいのではと考えます。(埼玉県 30代)
- *とてもていねいな対応で、うれしく思いました。又、こちらの方に来た時には、寄りたいたいと思います。ありがとうございました。(流山市 60代)
- *トイレ男子、大はペーパーセットの位置がわるい (市内 60代) (館より:位置を改善いたしました。)
- *こぢんまりしていましたが展示物が多く、短い時間でしたがじっくりと見ることができ丁度良くかんじました。どこか古風な建物のつくりも落ちつきます。(船橋市 20代)
- *展示物に重みや歴史を感じ、面白かったです!! (市内 10代)

希望される企画（原文のとおり）

- *やちよの昔話（こわいはなし）ようかいとか、こどもが好きそうです。昔のあそびがいつでも体げんできる。(佐倉市 40代)
- *仏像と刀剣と中世 (茨城県 50代)
- *八千代市の動、植物や自然について知りたいです。(流山市 60代)
- *村上小学校のれきし (市内 小学生)
- *八千代市の遺跡、民俗史、古文書から見た八千代 (千葉市 40代)
- *成田山から見た八千代 (市内 50代)
- *民俗（食文化、信仰、日常のくらしぶりなど） (船橋市 20代)

4 令和5年度 企画展アンケート集計結果

企画展名		企画展		巡回展		「くらしのうつりかわり展～資料から知る阿蘇・米本地域～」	
		「発掘やちよ 新情報～古代集落と中世城館～」		「流山新市街地地区の遺跡展 大地より出でし先人の足跡」			
開催日数		57日		44日		44日	
回答者数		69人		70人		30人	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(人)	人数(人)	比率(%)
住所	市内	41	59	27	39	22	73
	県内	25	36	32	46	6	20
	県外	2	3	11	16	1	4
	海外	0	0	0	0	0	0
	未記入	1	2	0	0	1	3
年齢	就学前	0	0	3	4	0	0
	小学生	9	13			9	30
	中学生	4	6			0	0
	10代	6	9	6	9	2	6
	20代	6	9	5	7	1	3
	30代	7	10	4	6	0	0
	40代	4	6	5	7	2	7

	50代	12	17	14	20	8	27
	60代	12	17	15	21	2	7
	70代以上	9	13	17	24	6	20
	未記入	0	0	1	1	0	0
来館回数	初めて	15	22	22	31	6	20
	2回目	9	13	8	11	5	17
	3回目	3	4	5	7	0	0
	4回目以上	42	61	35	50	19	63
	未記入	0	0	0	0	0	0
前回来館	1～2年前	33	48			18	60
	3～4年前	8	11			2	7
	5年以上前	4	6			2	7
	その他	9	13			2	6
	未記入	15	22			6	20
周知	知っていた	44	64	45	64	21	70
	知らなかった	25	36	25	36	9	30
	未記入	0	0	0	0	0	0
周知媒体 (複数回答あり)	新聞	4	5			0	0
	雑誌	0	0	1	1	0	0
	テレビ	0	0			0	0
	ラジオ	0	0			0	0
	ポスター	8	11	27	36	4	10
	チラシ	7	9	0	0	4	10
	インターネット	11	15	11	15	4	10
	当館案内	4	5	1	1	2	5
	広報やちよ	7	9			5	12
	以前来館	6	8			7	17
	先生・知人	4	5	19	25	3	7
	その他	3	4	6	8	3	7
	未記入	21	28	11	15	9	22
テーマ	とても良い	45	65			18	60
	良い	23	33			10	34
	どちらともいえない	1	2			1	3
	つまらない	0	0			0	0
	とてもつまらない	0	0			0	0
	未記入	0	0			1	3
難易度	難しすぎる	0	0	1	1	1	3
	難しい	11	16	0	0	4	13
	ちょうど良い	52	75	0	0	18	60
	普通	0	0	6	9	0	0
	やさしい	6	9	0	0	5	17
	やや分かりやすい	0	0	15	23	0	0
	やさしすぎる	0	0	0	0	0	0

	分かりやすい	0	0	47	66	0	0
	未記入	0	0	1	1	2	7
感想	非常に満足	25	36	47	67	10	33
	満足	38	55	12	17	16	53
	どちらとも	4	6	10	14	2	7
	不満	0	0	0	0	1	3
	非常に不満	0	0	1	1	0	0
	未記入	2	3	0	0	1	3
紹介	したい	54	78			27	90
	しない	11	16			3	10
	未記入	4	6			0	0
照明	明るすぎる	0	0			0	0
	暗すぎる	2	3			0	0
	ちょうど良い	63	91			27	90
	未記入	4	6			3	10
文字の 大きさ	大きすぎる	1	1			1	3
	小さすぎる	6	9			1	3
	ちょうど良い	58	84			25	83
	未記入	4	6			3	10

(比率は小数点以下を四捨五入した値)

5 条例・規則

○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例

平成 12 年 3 月 24 日

条例第 6 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 市は、歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料(以下「博物館資料」という。)を調査研究し、収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、その教育、学術及び文化の発展に寄与するため、八千代市立郷土博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 3 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
八千代市立郷土博物館	八千代市村上 1, 170 番地 2

(事業)

第4条 博物館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (4) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (5) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校及び学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他博物館の目的を達成するために必要な事業
(職員)

第5条 博物館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第6条 八千代市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等をき損し、又は汚損するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があると認められるとき。

(損害の賠償)

第7条 博物館の施設、設備及び博物館資料に損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。

(博物館協議会)

第8条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定により、博物館に八千代市立郷土博物館協議会(以下「博物館協議会」という。)を置く。

2 博物館協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、5人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(令5条例10・一部改正)

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例(平成5年八千代市条例第3号)は、廃止する。

附則(令和5年条例第10号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例(平成 12 年八千代市条例第 6 号。以下「条例」という。)第 9 条の規定により、八千代市立郷土博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 4 時 30 分までとする。ただし、八千代市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあたるときは、その翌日以後の最初の休日でない日)

(2) 12 月 26 日から翌年の 1 月 4 日までの日

(平 24 教委規則 6・一部改正)

(職員の職及び職務)

第 4 条 条例第 5 条の規定により博物館に置かれる職員は、事務職員とし、その職及び職務は、次表のとおりとする。

職員	職	職務
事務職員	補佐	館長の職務を補佐する。
	副主幹	上司の命を受け、その担当事務を処理する。
	主査	上司の命を受け、その担当事務を処理する。
	主査補	上司の命を受け、事務に従事する。
	主任主事	上司の命を受け、事務に従事する。
	主任学芸員	上司の命を受け、博物館の専門的事務に従事する。
	主事	上司の命を受け、事務に従事する。
	学芸員	上司の命を受け、博物館の専門的事務に従事する。

(平 13 教委規則 7・平 18 教委規則 3・平 20 教委規則 7・一部改正)

(禁止行為)

第 5 条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく展示品を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で飲食すること。
- (4) その他他の入館者の迷惑になるような行為をすること。

(令元年教委規則 3・一部改正)

(喫煙の禁止)

第 6 条 何人も、博物館において、喫煙をしてはならない。

(令元年教委規則 3・追加)

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか必要な事項については、教育委員会が別に定める。
(令元年教委規則3・旧第6条線下)

附則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。
(八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の廃止)
- 2 八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則(平成5年八千代市教委規則第3号)は、廃止する。

附則(平成13年教委規則第7号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成18年教委規則第3号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附則(平成20年教委規則第7号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成24年教委規則第6号)

この規則は、平成24年9月1日から施行する。

附則(令和元年教委規則第3号)

この規則は、公布の日から施行する。

○八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程

平成12年3月28日
教委訓令甲第1号

(趣旨)

第1条 この訓令は、八千代市立郷土博物館に勤務する職員(以下「職員」という。)の勤務時間、勤務を要しない日及び休憩時間(以下「勤務時間等」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(平20教委訓令甲3・一部改正)

(勤務時間)

第2条 職員(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第22条の4第1項又は第22条の5第1項の規定により採用された短時間勤務の職を占める職員(以下「定年前再任用短時間勤務職員」という。))及び八千代市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例(平成27年八千代市条例第35号)第4条の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員(以下「任期付短時間勤務職員」という。)を除く。)の勤務時間は、1日につき7時間45分とし、かつ、4週間を平均して1週間について38時間45分とする。

2 定年前再任用短時間勤務職員の勤務時間は、1日につき7時間45分を超えない範囲内で館長が定める時間とし、かつ、4週間を平均して1週間について15時間30分から31時間までの範囲内で館長が定める時間とする。

3 任期付短時間勤務職員の勤務時間は、1日につき7時間45分を超えない範囲内で館長が定める時間とし、かつ、4週間を平均して1週間について31時間までの範囲内で館長が定める時間とする。

(平 14 教委訓令甲 2・平 17 教委訓令甲 1・平 28 教委訓令甲 1・令 5 教委訓令甲 1・一部改正)

(勤務を要しない日)

第 3 条 職員の勤務を要しない日は、4 週間について 8 日(定年前再任用短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員にあつては、8 日以上)の割合で館長があらかじめ職員ごとに指定する日とする。

(平 14 教委訓令甲 2・平 17 教委訓令甲 1・平 24 教委訓令甲 3・平 28 教委訓令甲 1・令 5 教委訓令甲 1・一部改正)

(休憩時間)

第 4 条 職員の休憩時間は、1 日の勤務時間が 6 時間を超える場合においては、1 時間を当該勤務時間の途中に置くものとする。

(平 22 教委訓令甲 1・一部改正)

(勤務時間等の割り振り)

第 5 条 勤務時間等の割り振りは、館長が業務の状況に応じて月ごとに定め、あらかじめ職員に示すものとする。

(平 20 教委訓令甲 3・旧第 6 条繰上)

(勤務時間等の割り振りの変更)

第 6 条 館長は、勤務上特に必要があると認めるときは、前条の規定により定めた勤務時間等の割り振りを変更することができる。この場合において、館長は、当該変更について速やかに関係職員に示さなければならない。

(平 20 教委訓令甲 3・旧第 7 条繰上)

附則

(施行期日)

1 この訓令は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程(平成 5 年八千代市教委訓令甲第 8 号)は、廃止する。

附則(平成 14 年教委訓令甲第 2 号)抄

この訓令は、令達の日から施行する。

附則(平成 17 年教委訓令甲第 1 号)

この訓令は、令達の日から施行する。

附則(平成 20 年教委訓令甲第 3 号)

この訓令は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 22 年教委訓令甲第 1 号)

この訓令は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 24 年教委訓令甲第 3 号)

この訓令は、平成 24 年 9 月 1 日から施行する。

附則(平成 28 年教委訓令甲第 1 号)

この訓令は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附則(令和 5 年教委訓令甲第 1 号)

(施行期日)

1 この訓令は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 暫定再任用短時間勤務職員(地方公務員法の一部を改正する法律(令和 3 年法律第 63 号)附則第 6 条第 1 項若しくは第 2 項又は第 7 条第 1 項若しくは第 3 項の規定によ

り採用された職員をいう。)は、定年前再任用短時間勤務職員(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第22条の4第1項又は第22条の5第1項の規定により採用された短時間勤務の職を占める職員をいう。)とみなして、第1条の規定による改正後の八千代市立公民館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第2条の規定による改正後の八千代市立小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第3項並びに第3条第1項、第3条の規定による改正後の八千代市立図書館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第4条の規定による改正後の八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第5条の規定による改正後の八千代市総合生涯学習プラザに勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第6条の規定による改正後の八千代市八千代台東南公共センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条並びに第7条の規定による改正後の八千代市文化伝承館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条の規定を適用する。

○八千代市立郷土博物館協議会運営規則

平成12年5月31日
教委規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例(平成12年八千代市条例第6号)第8条第1項に規定する八千代市立郷土博物館協議会(以下「博物館協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長及び副委員長)

第2条 博物館協議会に委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、博物館協議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 博物館協議会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、会議の議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第4条 博物館協議会の庶務は、八千代市立郷土博物館において処理する。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、博物館協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が博物館協議会に諮って定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

八千代市立郷土博物館

館報

No.30

(令和5年度)

発行日 令和6年6月18日

発行・編集 八千代市立郷土博物館